

平成28年11月13日  
今週のベストショット



奈多グラウンド 三苦フレンズ 対 和白新町パイレーツ戦  
ゲッツーを狙うパイレーツ浜田遊撃手と白岩二塁手。

写真：奈多クラブ 木伏陽一郎

**青松園B 終盤に大きく引き離れたレッドが勝利！**

ブルーマーリンズ（4勝7敗1分）4 0 0 1 1      6      川口●、阿部、横山（祥）－横山（健）

レッドサンデーズ（3勝7敗2分）8 0 0 3 6 ×      1 7      塚本○－荒口

**HR**：桑野（ブルー）、古賀（開）2、塚本（レッド） **2BH**：川原（陸）、八島（レッド）

**盗塁**：井上（紘）、末松（ブルー）、古賀（開）、川原（陸）、荒口（レッド）

一回表、ブルーマーリンズはレッドサンデーズ先発の塚本投手の制球難による四死球や内野陣の失策、六番横山（祥）選手の適時打など安打はこの1本のみであったがこの回に4点を先取する。幸先よく先取点を得たように思えたブルーマーリンズであったが一回裏ブルーマーリンズ先発の川口投手も制球難に苦しむ。二死まではとったものの、打者9人に対し6四球を与え同じく1安打で4点を奪われる。打者一巡したところ、二死満塁で阿部投手に交代。するといきなり一番古賀（開）選手に左翼へ本塁打を浴び、さらに4点を追加される。しかし、阿部投手本塁打は浴びたものの次の打者を打ち取り続く二回、三回も三者凡退に打ち取る好投を見せる。これで流れを引き寄せたいブルーマーリンズであったがレッドサンデーズ先発の塚本投手も立ち直りを見せ初回に4点を奪ったものの、二回以降は四番桑野選手の本塁打を含む2点のみで抑えられる。一方、レッドサンデーズは一番古賀（開）選手のこの日二本目となる本塁打を皮切りに連打で得点を重ね、終わってみれば終盤に畳み掛けたレッドサンデーズがコールドで大勝した。（記事・写真：雁の巣ライナース 明瀬 旭）



粘り強い完投勝利レッドサンデーズ先発の塚本投手。



ブルーマーリンズ先発の川口投手。



一回裏、適時左前安打を放つレッド三番川原陸選手。



二回、三回を完璧に抑えたブルーマーリンズ二番手阿部投手。



内野ゴロを無難に捌くレッド川原陸遊撃手。



本盗を決め、ベンチに迎えられるブルーマーリンズ末松選手。



四回裏、本日二本目のHRを放つレド一古賀開選手。



五回表、HRを放ったブルーマーリンズ四番桑野選手。



とどめの3ラン。レッド五番塚本選手。

### 奈多グラウンド 好投手の投げ合い！両チーム決着つかず引き分ける。

三苦フレンズ (2勝8敗2分) 001000 1 山口△—佐藤 (由)

新町パイレーツ (3勝8敗1分) 010000 1 吉田、八坂△—桐島

HR: 小林 (新町パ) 3BH: 白岩 (新町パ) 2BH: 御手洗 (三苦フ)

盗塁: 山口 (三苦フ) 足立、桐島 (新町パ)

三苦フレンズ山口投手、パイレーツ吉田投手。好投手同士の投げ合いではじまった試合。一回は両投手ランナーを出すも0点に抑え上々の立ち上がり。二回裏パイレーツは二死ランナー無しから八番小林選手が左中間にランニングホームランを放ち1点を先制。続く九番白岩選手も左線三塁打で続き押し押しモードで追加点につながるかと思われたが、さすがフレンズ山口投手もしっかりと切り替え、次の打者を抑えこの回1点止まり。パイレーツ吉田投手を攻略したいフレンズは、三回表、三番生野 (拓) 選手が出塁し、四番山口選手の中前打で無死一三塁のチャンス。ここで五番西山選手の遊ゴロで生野 (拓) 選手がホームを狙うがタッチアウト。チャンスが潰えるかと思われたが、六番佐藤 (博) 選手の時にWPで山口選手がホームに帰りフレンズが同点に追いつく。しかし、パイレーツ吉田投手は1点を許すも後続をしっかり抑え最少失点で切り抜ける。四、五回は両チームとも三者凡退で最終回へ。勝ち越したいフレンズは一死から七番御手洗選手が右中間二塁打を放ちチャンスメイク。続く八番生野 (猛) 選手もレフト前ヒットで一死一三塁と勝ち越しのビッグチャンス。しかし、守りのパイレーツは、五回からマウンドに上がっている八坂投手がフレンズ九、一番打者を見事な粘りの投球で無失点に抑える。ピンチをしのぎ良いムードで最終回裏パイレーツの攻撃。一死から三番足立選手が粘り四球を選ぶと、四番桐島選手も執念のサード内安打で一死二三塁とサヨナラのビッグチャンス。フレンズ山口投手対パイレーツ打線の見応えある対決は、山口投手の剛速球で連続三振に切り、引き分けで試合終了！両チームの来シーズンにつながる引き締まった見事な試合。来期は優勝争いを期待したい。(記事、写真: 奈多クラブ 木伏陽一郎)



和白新町パイレーツ先発の吉田投手。



三苦フレンズ先発の山口投手。



パイレーツ四番桐島選手の見事なライト前ヒット！



ゲッターを狙うショート浜田選手とセカンド白岩選手。



左中間にホームラン！パイレーツ小林選手。



パイレーツ足立選手対フレンズ山口投手の見応えある対決。



見事なリリーフ！パイレーツ八坂投手。



鋭いスイングスピード フレンズ肥喜里選手。



最終回ピンチをしのぐパイレーツナイン。



最終回見事なキャッチ！パイレーツ弥栄外野手。



軽快な守備を見せるフレンズサード西山選手。



ナイスゲーム！来シーズン両チームの優勝争いを期待したい。

### 青松園A フェニックス理想的な試合運びで快勝

塩浜ジャガーズ (5勝7敗1分) 2 0 0 0 0 0 0 2 道喜●ー橋村

奈多フェニックス (10勝1敗2分) 3 3 0 3 0 2 X 1 1 松本○ー実延 (新)

HR: 佐藤 (塩浜ジ) 今林 (英) (奈多フ) 3 BH: 実延 (新) (奈多フ) 2 BH: 実延 (新)、太田 (奈多フ)

盗塁: 高原2 (奈多フ) 紺野 (奈多ジ)

一回表ジャガーズは、先頭の紺野選手が俊足を生かし相手のエラーを誘い出塁後、四番佐藤選手の左越えHRで2点を先制。その裏フェニックスも高原、安藤、実延 (新) 選手の二塁打等で3点を返す。その後ジャガーズは、道喜選手の内安打でチャンスは作ったものの、フェニックス松本投手に毎回奪三振を喫してしまう。フェニックスは二回裏にも、太田、高原、福島選手がヒットで出塁し、実延 (新) 選手の三塁打で3点を追加してゲームの主導権を握る。四回裏にも3点、六回裏にも今林英二選手のHR等で2点を追加し理想的な試合運びとなった。また実延 (新) 選手はサイクルヒットの記録がかかった最終打席はデッドボールにより、記録は幻と消えた。

(記事・写真: 三苦ホーネッツ 前園康壽)



奈多フェニックス先発の松本投手。



ジャガーズ先発の道喜投手。



先制のホームを踏むジャガーズ紺野選手。



一回表、2ランHRを放った佐藤選手。



佐藤選手ゆっくりホームイン。



本日の打のヒーロー実延（新）選手。



ダメ押しのHRを放った今林英二選手。



フェニックス太田選手の二塁打。



フェニックス四番安藤選手の打撃。



絶妙なバントヒットで出塁の道喜選手。



2安打完投勝利の松本投手と打のヒーロー実延新伍選手。

## 第23週編集後記

WSLの皆さん、コンイチハ!

第23週、11月13日は3試合が行われました。

青松園Bのブルーマーリンズ対レッドサンデーズ戦は、初回内野陣の失策等でブルーマーリンズが幸先よく4点を先取するも、エース不在のブルーマーリンズの投手事情も苦しく川口投手の制球難から同点に追いつかれると、代った阿部投手からレッド一番古賀開選手が技ありの満塁HRを放ち4点リード。あとはリードを保ちつつ、終盤にも古賀開選手、塚本選手のHRなどで得点を重ねたレッドが6-17と逆転勝利。

奈多グラウンドの三苦フレンズ対新町パイレーツ戦は、初回からお互い塁を賑わせる展開だったが、二回裏、パイレーツ八番三重野選手のソロHRで先制すると、フレンズは三回表相手WPで同点に追いつくも勝ち越せず。最終回お互いランナー三塁まで進めるも決め手を欠き、1-1の引き分け。共に残り1試合。

青松園Aの塩浜ジャガーズ対奈多フェニックス戦は、共に最終戦。フェニックス先発松本投手は、優勝のために絶対に負けられないプレッシャーからか、一回表にジャガーズ四番佐藤選手から2ランを浴び先制される。しかし、失点はこれだけで、二回以降内野安打1本に抑える。打っては一回裏に早くも逆転すると、計15安打を放ち2-11で逆転勝利。フェニックスは勝ち点を32として、奈多クラブの最終戦を待つ。

さあ、泣いても笑ってもH28年のWSLは残り2週となりました。

優勝の行方と共に個人タイトルも気になります。

今年の閉幕式は12月18日(日)16時から三苦公民館にて行われます。

その前の15時から運営委員会が同じく三苦公民館で行われますので、各運営委員の方は宜しくをお願いします。